

**安芸地域アクションプランの  
追加・削除・拡充等（予定項目）**

**安 芸 地 域 本 部  
令和8年1月20日（火）**

# 地域アクションプランの令和8年度の追加・削除等項目（案）

## 地域アクションプランの支援の方向性

地域アクションプランの目標の達成に向けて、産業振興推進地域本部を中心に、事業者等の取り組みをきめ細かく支援する。あわせて、市町村等と連携し、地域の新たなチャレンジをしっかりと伴走支援していく。

### （1）地域アクションプランの実行支援

- ① 今後産振補助金の活用が見込まれる事業者の事業計画作成を支援。必要に応じて産業振興アドバイザーを投入。
- ② 雇用奨励金事業の活用促進に向け、事業者や市町村への周知を徹底するとともに、活用が見込まれる事業者への支援を強化。

### （2）地域の新たなチャレンジを支援

- ① 引き続き、市町村や商工会等と連携し、地域の新しい動きに関する情報収集に努めるとともに、起業を目指す地域おこし協力隊等への個別訪問等により、地域の新たなチャレンジを支援。
- ② 地域に若者の雇用を生み出すため、地域アクションプランのあり方について検討。

## 地域アクションプランの増減 R7年度 156件 → R8年度 155件

### （1）追加（新規）： 1件

- 地域資源を活用した粉炭づくりによる地域の課題解決および活性化（日高村）



### （2）削除（廃止）：▲ 1件

- 地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化（四万十市）

### （3）統合： 2件 → 1件

- ～しまんとがわのまんなか～四万十町観光交流促進事業（四万十町）
- 四万十町観光交流拠点施設の整備（四万十町）

	R7年度 (第5期ver.2)	R8年度 (第5期ver.3)				AP数
	AP数 R8.1月時点	増減				
		追加	削除	統合	計	
安芸	20					20
物部川	19					19
高知市	14					14
嶺北	16					16
仁淀川	33	1			1	34
高幡	24			(2→1) ▲ 1	▲ 1	23
幡多	30		▲ 1		▲ 1	29
合計	156	1	▲ 1	▲ 1	▲ 1	155

安芸地域アクションプラン項目（第5期計画（R7年度）と

第5期計画ver.3（R8年度）の対比表）

【安芸地域】

No.	現在(令和7年度)	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		5	3	5	4	4	5	3	5	3
1	「村を売り出す」有機栽培ゆず製品の販路拡大による地域の活性化								●	
2	東洋町のポンカン加工品の販路拡大と後継者確保による地域振興			●						
3	芸西村の白玉糖を活用した地域活性化									●
4	馬路の林業加工品の販売促進								●	
5	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
6	道の駅キラメッセ室戸を核とした地産地消・外商の拡大	●								
7	安芸市中心市街地の活性化		●							
8	道の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
9	なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進				●					
10	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み					●				
11	やすだ資源を生かした新商品開発による地産外商の推進						●			
12	地場産品直販所「かっぱ市」を核とした地域活性化									●
13	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14	日本遺産を活用した中芸地域の活性化				●	●	●	●	●	
15	室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興	●								
16	安芸市のユズ、ナス等の地域食材や観光資源を活用した交流・関係人口の拡大		●							
17	東洋町における体験型・滞在型観光の推進	●	●							
18	安田川アユおどる清流キャンプ場における交流人口の拡大による地域の活性化						●			
19	北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大							●		
20	自然や歴史・文化を活用した山と暮らす馬路村の観光振興								●	

No.	改定案(令和8年度)	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		5	3	5	4	4	5	3	5	3
1	「村を売り出す」有機栽培ゆず製品の販路拡大による地域の活性化								●	
2	東洋町のポンカン加工品の販路拡大と後継者確保による地域振興			●						
3	芸西村の白玉糖を活用した地域活性化									●
4	馬路の林業加工品の販売促進								●	
5	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
6	道の駅キラメッセ室戸を核とした地産地消・外商の拡大	●								
7	安芸市中心市街地の活性化		●							
8	道の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
9	なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進				●					
10	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み					●				
11	やすだ資源を生かした新商品開発による地産外商の推進						●			
12	地場産品直販所「かっぱ市」を核とした地域活性化									●
13	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14	日本遺産を活用した中芸地域の活性化				●	●	●	●	●	
15	室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興	●								
16	安芸市のユズ、ナス等の地域食材や観光資源を活用した交流・関係人口の拡大		●							
17	東洋町における体験型・滞在型観光の推進	●	●							
18	安田川アユおどる清流キャンプ場における交流人口の拡大による地域の活性化						●			
19	北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大							●		
20	自然や歴史・文化を活用した山と暮らす馬路村の観光振興								●	

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

■追加

なし

■削除

なし

■その他(拡充、統合、分割等)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 5 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>【実施主体】 【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会、【水産加工業者】◎(有)タカシン水産(佐喜浜工場)、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓、(株)岡水産</p>	<p>【修正】 R7年度に実施したペットフード製造のための加工場整備の取り組みを追加し、今後新たな販路開拓にも取り組んでいくこととなった。 また、水産加工業者の新たな加工場整備において、R6年度から取り組んでいた事業計画が策定されたことにより今後のスケジュールが明確になったため、行程表を修正する。</p>
2	<p>No. 8 道の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>【実施主体】 ◎東洋町、◎指定管理者((株)FoundingBase)、生産者、地域団体</p>	<p>【修正】 R7年度に予定していたグランピング施設の整備計画が中止となったため、第5期計画における行程表から「グランピング施設の整備」を削除するとともに、施設整備等にかかる行程表を修正する。</p>
3	<p>No. 9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進(奈半利町)</p> <p>【実施主体】◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、JA高知県(安芸地区)、なはり浦の会</p>	<p>【修正】 物産館無花果のリニューアルについて、R7年度に基本計画を策定し、R8年度に設計・着工する見通しが立ったため、行程表を修正する。 また、加領郷小学校跡施設の活用について、R8年度に設計・着工、R9年度に運営を開始することになったため、行程表を修正する。</p>

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
4	<p>No. 10 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み（田野町）</p> <p>【実施主体】◎道の駅指定管理者（たの未来プロジェクト(株)）、◎田野町、加工施設指定管理者（中芸食材工房）、生産者組織、地域団体</p>	<p>【修正】</p> <p>田野駅屋の再整備のスケジュールについて、R8年度に基本・実施設計を行い、R9年度に建設工事、R10年度以降にリニューアルオープンする予定となったため、行程表を修正する。</p>
5	<p>No. 19 北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大（北川村）</p> <p>【実施主体】◎(株)きたがわジャルダン、◎北川村、(一社)北川村文化観光公社、NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会</p>	<p>【修正】</p> <p>R7年度に文化庁の文化観光推進事業に認定され、R7年度からR11年度までの5年間「『北川村モネの庭マルモッタン』を中核とした文化観光拠点計画」に基づき、ハード・ソフトの両面から文化観光拠点施設としての機能強化に取り組むこととなったため、行程表を修正する。</p>





安芸地域アクションプラン

		分野	水産業
AP名 (実施地域)	No.5 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)		
実施主体	【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会、【水産加工業者】◎(有)タカシン水産(佐喜浜工場)、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓、(株)岡水産		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
漁業者による加工品の製造販売	<p>&lt;定置網漁獲物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低利用魚の簡易加工品試作(H26)</li> </ul> <p>&lt;近海マグロ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手船主を中心に結成された「土佐室戸鮪軍団」による出前授業やイベントでのPR(H29~)</li> <li>・未利用部位の加工品開発(H29~R2)、道の駅や飲食店等での販売、ふるさと納税返礼品への採用(H30~)</li> <li>・加工機器の導入(R3~4) →新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用</li> <li>・商品開発と販路開拓(R4)→高知銀行による支援事業の活用</li> <li>・(株)美阿丸が新たな加工工場を建設(R5.2) →室戸市企業立地促進事業費補助金の活用</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マグロ加工品の販売額 H29:0万円 →R6:767万円</li> <li>・水産加工品販売額 H22:0.4億円(1社のみ) →R6:2.0億円</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者による加工品の製造販売</li> </ul>
水産加工業者による加工品の製造販売	<p>&lt;(有)タカシン水産&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工工場整備(H21)→産振補助金の活用</li> <li>・地域漁獲物を用いた加工事業の実施(H21~)</li> <li>・ふるさと納税返礼品への採用(H27~)</li> <li>・HACCP取得に向けた施設整備と内製化に向けた機器整備(R2~3)→新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用</li> <li>・ECサイト運営(R3~)</li> <li>・新県版HACCP第2ステージ認証更新(R5.6)</li> </ul> <p>&lt;(有)山本かまぼこ店&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発・新工場の基本設計事業(R2)→産振補助金の活用</li> <li>・設備導入(R3)→新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用</li> <li>・加工工場の整備検討(R3~4) →産振補助金の活用を検討したが資材高騰等により中止</li> <li>・<u>ペットフード製造のための加工工場整備(R7)</u> →<u>事業再構築補助金の活用</u></li> </ul> <p>&lt;(株)岡水産&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工工場の整備検討(R6~R7)→産振補助金の活用(R6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発スキル向上やネット販売による販路拡大</li> <li>・加工場における製造体制の確立</li> </ul> <p>水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上、衛生管理体制の強化</li> <li>・建設資材等高騰による施設整備費の上昇</li> <li>・さらなる販路開拓、販売促進</li> </ul>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)漁業者による加工品販売額※	90万円(R4)	767万円			700万円
(2)水産加工業者の販売額※	2.3億円(R4)	2.0億円			3.0億円

※会計年度:(1)9月~8月、(2)7月~6月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>新商品の開発やネット販売による販路拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(株)美阿丸                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品ラインナップの拡充、販路開拓</li> </ul> </li> <li>□県(地域本部等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振補助金の活用、各種研修会への参加呼びかけ</li> </ul> </li> </ul> <p><b>加工場における製造・販売体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(株)美阿丸                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元及び自社内での原魚調達による加工品製造の強化</li> <li>・HACCPに沿った衛生管理体制の構築</li> </ul> </li> </ul> <p><b>水産物のPR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■土佐室戸鮪軍団                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マグロ解体ショー」やマグロ加工品の販売等による広報</li> </ul> </li> </ul>				商品開発、販路拡大
<p><b>生産性の向上と販路拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓、商品開発</li> </ul> </li> <li>■(有)山本かまぼこ店                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設における衛生管理体制の構築</li> </ul> </li> <li>□県(地域本部等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介</li> </ul> </li> </ul> <p><b>施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(有)山本かまぼこ店、(株)岡水産                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・HACCPに沿った衛生管理に対応した施設整備((株)岡水産は産振補助金を活用)</li> </ul> </li> <li>□県(地域本部等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振補助金の活用、申請支援、補助制度に関する情報提供等</li> </ul> </li> </ul>				販路開拓・商品開発
				衛生管理体制の構築
				ペットフード加工工場整備
				事業計画・実施設計
				加工場整備
				加工・物販開始
				衛生管理体制の構築

修正前

安芸地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No. 8 道の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)
実施主体	◎東洋町、◎指定管理者 ((株)FoundingBase)、生産者、地域団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「道の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
<b>誘客の促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅東洋町」の整備 (H20.1月)</li> <li>・火災による焼失 (H24.7月)</li> <li>・再建、運営開始 (H26.1月～)</li> <li>→産振補助金の活用 (H24～25)</li> <li>・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加 (H29)</li> <li>・駐車場などを活用したイベント誘致</li> <li>・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～3)</li> <li>・自動ドア新設、キャッシュレス決済対応レジ・屋外席用備品購入 (R2) →新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用</li> <li>・駅長の設置 (R3)</li> <li>・地域活性化起業人制度の活用 (R4～)</li> <li>・BBQ事業の開始 (R4)</li> <li>・直販所交流 (R4～)</li> <li>・指定管理による運営開始 (R5)</li> <li>・「道の駅」として国土交通省への登録完了(R6.8月)</li> <li>・公式HPとECサイトの開設 (R6.10月)</li> </ul>	<p><b>[成果]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅長(責任者)の設置による運営体制の強化</li> <li>・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供</li> <li>・売上高 R元:1.68億円 →R3:1.52億円 →R4:1.86億円 →R5:2.31億円</li> <li>・入込客数 R元:175,666人 →R3:155,477人 →R4:169,520人 →R5:184,757人</li> <li>・直販所交流 交流直販所数:33カ所 (R6.11月時点累計)</li> </ul>
<b>観光機能の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ事業の開始、カツオの薫焼き体験の試行 (R4)</li> <li>・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有 (R4)</li> <li>・グランピング施設の検討</li> <li>・白浜キャンプ場の運営委託開始(R5)</li> </ul>	<p><b>[課題]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度向上</li> <li>・集客強化</li> <li>・リピーターの確保</li> <li>・町内事業者(出品者)との協力体制の構築</li> <li>・主力商品である魚の安定供給</li> <li>・町内事業者、地域団体との連携</li> <li>・白浜キャンプ場の活用</li> <li>・冬期の閑散期対策</li> </ul>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	1.86億円 (R4)	2.54億円			3.25億円
(2)来場者数	169,520人 (R4)	187,248人			200,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>魅力的な店舗づくり</b></p> <p>■東洋町、指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店内レイアウトの工夫</li> <li>・ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致</li> <li>・SNSを活用した情報発信</li> <li>・町内外イベントへの出店</li> <li>・BBQ事業</li> <li>・店舗内商品の充実</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供</li> <li>・関係機関への橋渡し</li> </ul> <p><b>直販所交流</b></p> <p>■指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の直販所交流による道の駅東洋町のPR</li> <li>・店舗内商品数の充実</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供及び関係機関への橋渡し</li> </ul>				
<p><b>新たな観光コンテンツの造成</b></p> <p>■東洋町、指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランピング施設の整備と自然休養村の改修</li> <li>・体験プログラムの造成</li> <li>・地域団体との連携</li> <li>・白浜キャンプ場の運営委託</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供及び関係機関への橋渡し</li> </ul> <p><b>観光窓口機能の充実</b></p> <p>■指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)東洋町観光振興協会との連携</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への橋渡し</li> </ul>				

安芸地域アクションプラン

		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.8 道の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)		
実施主体	◎東洋町、◎指定管理者((株)FoundingBase)、生産者、地域団体		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	高知県の東の玄関口である東洋町の観光の窓口及び地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「道の駅東洋町」を核とした交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
<b>誘客の促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅東洋町」の整備 (H20.1月)</li> <li>・火災による焼失 (H24.7月)</li> <li>・再建、運営開始 (H26.1月～)</li> <li>→産振補助金の活用 (H24～25)</li> <li>・農林水産物直販所運営管理者及び安心係等発展講習会参加 (H29)</li> <li>・駐車場などを活用したイベント誘致</li> <li>・高知6次産業化サポートセンターよりプランナー派遣 (R元～3)</li> <li>・自動ドア新設、キャッシュレス決済対応レジ・屋外席用備品購入 (R2) →新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用</li> <li>・駅長の設置 (R3)</li> <li>・地域活性化起業人制度の活用 (R4～)</li> <li>・BBQ事業の開始 (R4)</li> <li>・直販所交流 (R4～)</li> <li>・指定管理による運営開始 (R5)</li> <li>・「道の駅」として国土交通省への登録完了 (R6.8月)</li> <li>・公式HPとECサイトの開設 (R6.10月)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅長(責任者)の設置による運営体制の強化</li> <li>・地元の魚を使ったメニューやお惣菜の提供</li> <li>・売上高 R元:1.68億円 →<b>R6:2.54億円</b></li> <li>・入込客数 R元:175,666人 →<b>R6:187,248人</b></li> <li>・直販所交流 交流直販所数:33カ所 (<b>R7.11月時点累計</b>)</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度向上</li> <li>・集客強化</li> <li>・ピーターの確保</li> </ul>
<b>観光機能の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ事業の開始、カツオの燻焼き体験の試行 (R4)</li> <li>・東洋町の観光情報をスタッフ間で共有 (R4)</li> <li>・白浜キャンプ場の運営委託開始 (R5)</li> <li>・<u>自然休養村の改修に向けた設計等の検討 (R7)</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内事業者(出品者)との協力体制の構築</li> <li>・主力商品である魚の安定供給</li> <li>・町内事業者、地域団体との連携</li> <li>・白浜キャンプ場の活用</li> <li>・冬期の閑散期対策</li> </ul>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	1.86億円 (R4)	2.54億円			3.25億円
(2)来場者数	169,520人 (R4)	187,248人			200,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>魅力的な店舗づくり</b></p> <p>■東洋町、指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店内レイアウトの工夫</li> <li>・ワークショップ・マルシェ等イベントの実施・誘致</li> <li>・SNSを活用した情報発信</li> <li>・町内外イベントへの出店</li> <li>・BBQ事業</li> <li>・店舗内商品の充実</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供</li> <li>・関係機関への橋渡し</li> </ul> <p><b>直販所交流</b></p> <p>■指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の直販所交流による道の駅東洋町のPR</li> <li>・店舗内商品数の充実</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供及び関係機関への橋渡し</li> </ul>				
<p><b>新たな観光コンテンツの造成</b></p> <p>■東洋町、指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然休養村の改修</li> <li>・体験プログラムの造成</li> <li>・地域団体との連携</li> <li>・白浜キャンプ場の運営委託</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種支援制度に関する情報提供及び関係機関への橋渡し</li> </ul> <p><b>観光窓口機能の充実</b></p> <p>■指定管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)東洋町観光振興協会との連携</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への橋渡し</li> </ul>				

修正項目(案)

修正前

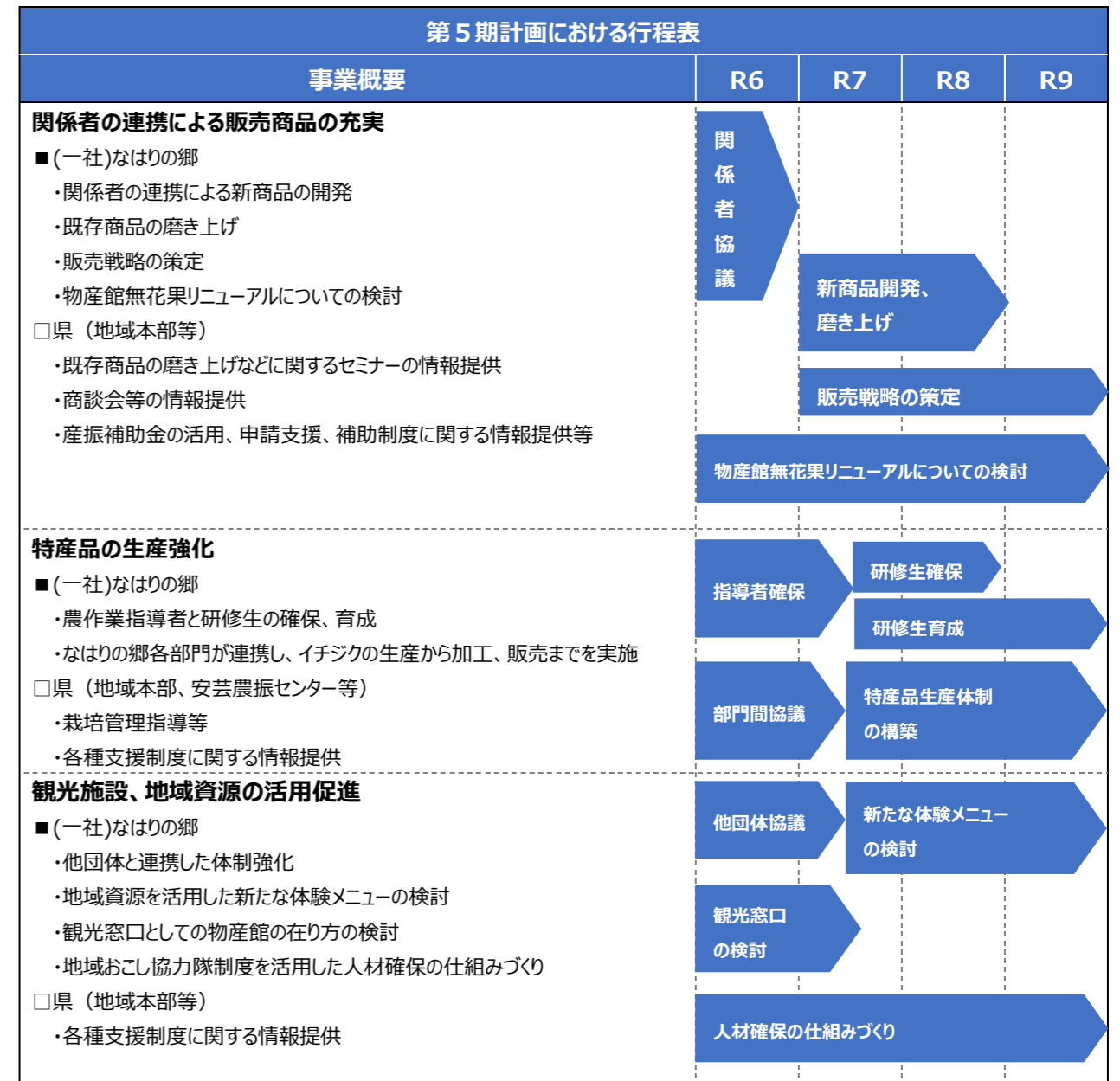
安芸地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、JA高知県(安芸地区)、なはり浦の会
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターなはりの郷が中心となり、地域食材を活用した特産品の開発・販売を促進して地産外商を強化するとともに、海浜センターや地域資源(生活体験学校等)を活用した体験型観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地産外商体制の強化	【(一社)なはりの郷】 ・経営改善計画を策定(R2) →うちんくのビジネス塾制度の活用 ・予実管理の徹底など経営意識を醸成(R3) →産振アドバイザー制度の活用 ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」会議の開催、経営理念、事業戦略等を策定(R5) →産振アドバイザー制度の活用 【奈半利なんでも市加工グループ(奈半利味噌)】 ・施設の増床及び機械の追加導入(H26) →産振補助金の活用 【NCL48(奈半利のおかって)】 ・加工施設の整備(H28) →地域づくり支援事業費補助金の活用	<b>【成果】</b> ・「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」の実施による経営改善及び新事業の検討 ・イチジクの作付面積拡大 H28:0a →R5:33a ・海浜センター体験メニューの充実及び利用客の増加  <b>【課題】</b> ・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
一次産業の振興	【(一社)なはりの郷】 ・施設の整備及び機械の導入(H29) →複合経営拠点支援事業費補助金の活用 ・備品整備(H29) →集落活動センター推進事業費補助金の活用 ・農作業受託、新規就農者受入れ等の推進(H29～) ・不耕作地対策事業によるイチジク作付面積の拡大(H29～)	・人手不足 ・規格外イチジクの有効活用 ・広報不足
体験型観光の推進	【奈半利町】 ・奈半利町観光基本構想の策定(R元) ・海浜センターの備品(クリア kayak等)を整備(R2) →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 ・奈半利町観光基本計画・基本設計の策定(R2) →地域観光振興交付金の活用 ・海浜センターの改修及びキャンプサイトの整備等(R3) →地域観光振興交付金の活用	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)物産館無花果の売上高	3,302万円(R4)	3,973万円			5,000万円
(2)農水産加工施設の店舗売上高	1,712万円(R4)	1,861万円			2,100万円
(3)JA加工施設(奈半利味噌)の売上高	843万円(R4)	852万円			930万円
(4)奈半利町観光入込数	50千人(R4)	52千人			55千人



安芸地域アクションプラン

分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.9 なはりの郷を核とした特産品の販売促進と体験型観光の推進 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、JA高知県(安芸地区)、なはり浦の会
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターなはりの郷が中心となり、地域食材を活用した特産品の開発・販売を促進して地産外商を強化するとともに、海浜センターや地域資源(生活体験学校等)を活用した体験型観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
地産外商体制の強化	<p>【(一社)なはりの郷】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予実管理の徹底など経営意識を醸成(R3) →産振アドバイザー制度の活用</li> <li>「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」会議の開催、経営理念、事業戦略等を策定(R5) →産振アドバイザー制度の活用</li> <li><u>イチジクを活用した加工品の開発(R6~R7)</u> →高知地域資源活用・地域連携サポートセンター事業の活用</li> <li><u>物産館無花果リニューアルにかかる基本計画の策定(R7)</u> →産振補助金の活用</li> </ul> <p>【奈半利なんでも市加工グループ(奈半利味噌)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の増床及び機械の追加導入(H26)→産振補助金の活用</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「なはりの郷を核とした地域振興プロジェクト」の実施による経営改善及び新事業の検討</li> <li>イチジクの作付面積拡大 H28:0a →R7:45a</li> <li>海浜センター体験メニューの充実及び利用客の増加</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>新加工品のPR</u></li> <li><u>出口戦略の検討</u></li> <li><u>人材不足</u></li> </ul>
一次産業の振興	<p>【(一社)なはりの郷】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の整備及び機械の導入(H29) →複合経営拠点支援事業費補助金の活用</li> <li>備品整備(H29)→集落活動センター推進事業費補助金の活用</li> <li>農作業受託、新規就農者受入れ等の推進(H29~)</li> <li>不耕作地対策事業によるイチジク作付面積の拡大(H29~)</li> </ul>	
体験型観光の推進	<p>【奈半利町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奈半利町観光基本構想の策定(R元)</li> <li>海浜センターの備品(クリア kayak等)を整備(R2) →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用</li> <li>奈半利町観光基本計画・基本設計の策定(R2) →地域観光振興交付金の活用</li> <li>海浜センターの改修及びキャンプサイトの整備等(R3) →地域観光振興交付金の活用</li> </ul>	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)物産館無花果の売上高	3,302万円(R4)	3,973万円			5,000万円
(2)農水産加工施設の店舗売上高	1,712万円(R4)	1,861万円			2,100万円
(3)JA加工施設(奈半利味噌)の売上高	843万円(R4)	852万円			930万円
(4)奈半利町観光入込数	50千人(R4)	52千人			55千人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>関係者の連携による販売商品の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(一社)なはりの郷 <ul style="list-style-type: none"> <li>関係者の連携による新商品の開発</li> <li>既存商品の磨き上げ</li> <li>販売戦略の策定</li> <li>物産館無花果<u>リニューアル</u></li> </ul> </li> <li>□県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> <li>既存商品の磨き上げなどに関するセミナーの情報提供</li> <li>商談会等の情報提供</li> <li>産振補助金の活用、申請支援、補助制度に関する情報提供等</li> </ul> </li> </ul>	関係者協議	新商品開発、磨き上げ	販売戦略の策定	物産館検討
<p><b>特産品の生産強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(一社)なはりの郷 <ul style="list-style-type: none"> <li>農作業指導者と研修生の確保、育成</li> <li><u>移住フェアへの参加</u></li> </ul> </li> <li>□県(地域本部、安芸農振センター等) <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培管理指導等</li> <li>各種支援制度に関する情報提供</li> </ul> </li> </ul>	指導者確保	研修生確保 研修生育成	特産品生産体制の構築	基本計画
<p><b>観光施設、地域資源の活用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(一社)なはりの郷 <ul style="list-style-type: none"> <li>他団体と連携した体制強化</li> <li><u>加領郷小学校閉校跡施設の活用</u></li> <li>地域おこし協力隊制度を活用した人材確保の仕組みづくり</li> </ul> </li> <li>□県(地域本部等) <ul style="list-style-type: none"> <li>各種支援制度に関する情報提供</li> </ul> </li> </ul>	他団体協議	新たな体験メニューの検討	設計 着工	新装開店
			運営開始	人材確保の仕組みづくり

修正項目(案)

修正前

安芸地域アクションプラン

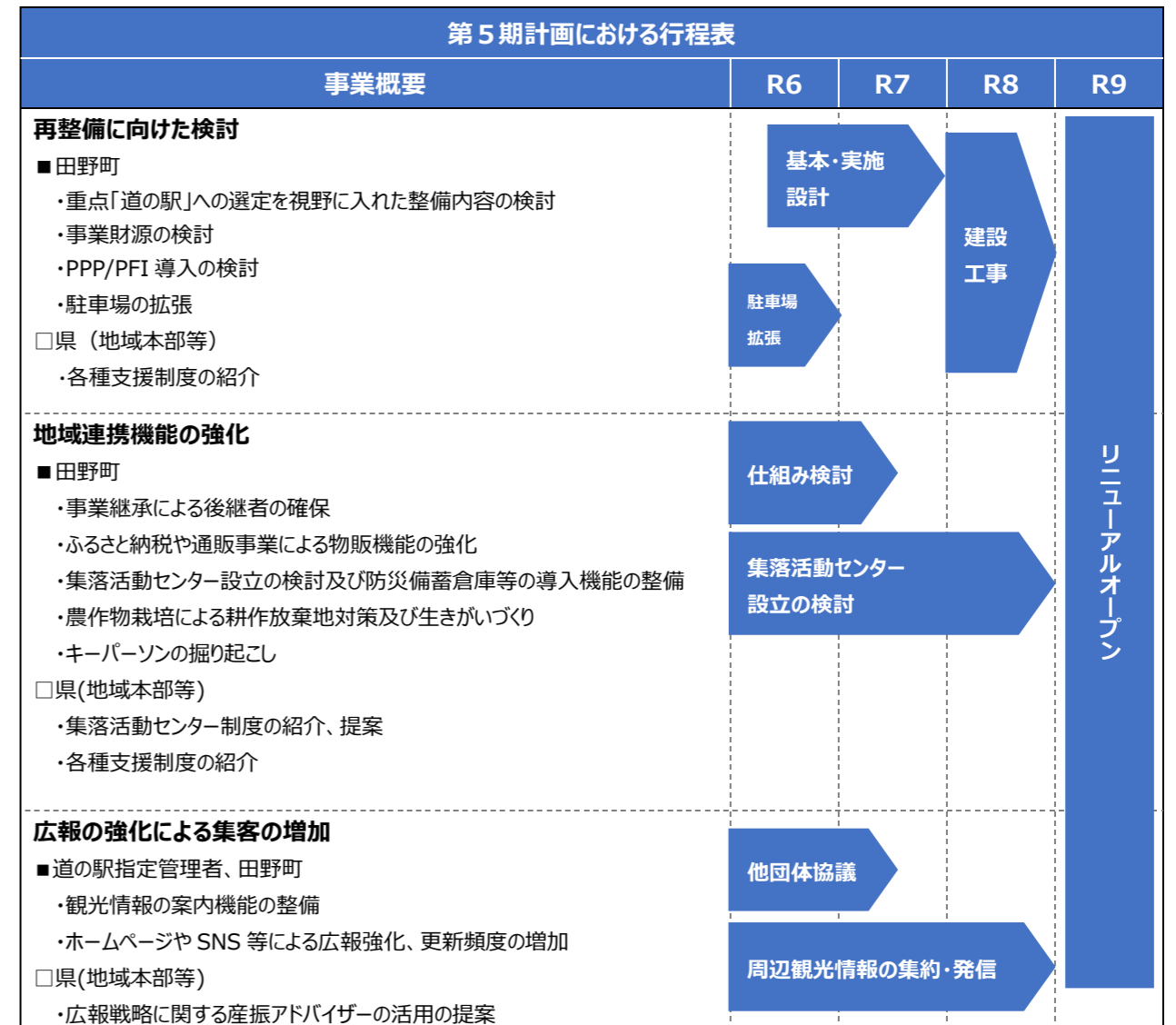
分野 商工業

AP名 (実施地域)	No.10 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み (田野町)
実施主体	◎道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト(株))、◎田野町、加工施設指定管理者(中芸食材工房)、生産者組織、地域団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	地域の特産品の販売や、観光情報の発信などの役割を担っている田野駅屋において、「阿南安芸自動車道」の整備を見据え、田野駅屋が観光の目的地や、道路利用者にとって安芸以東の地域における安心して休憩できる場となるよう再整備を行う。 再整備にあたっては、令和5年度に策定した基本計画を元に、観光客や道路利用者だけではなく、地域のあらゆる世代が活躍する舞台となる地域拠点や地域コミュニティを目指していく。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
機能強化のための施設等整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの洋式化及びWi-Fi整備(H28)</li> <li>レンタサイクル小屋の整備(H30) →観光拠点等整備事業費補助金の活用</li> <li>再整備基本計画の基礎資料である、基本構想を策定(R4)</li> <li>再整備基本計画策定検討委員会の開催(R5)</li> <li>住民ワークショップ、住民アンケートの実施(R5)</li> <li>再整備基本計画の策定(R5) →産振補助金の活用</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の増加 R2: 2.5億円 →R5: 2.8億円</li> <li>新商品の開発(累計) H21: 0件 →R5: 6件</li> </ul>
直販・飲食機能及び運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新メニューの開発(H30)</li> <li>中芸高校生オリジナルレシピ「田野学館弁当」の販売開始(H30~)</li> <li>町100%出資の「たの未来プロジェクト(株)」が道の駅指定管理者として運営開始(R元~)</li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民ニーズの再整備計画への反映</li> <li>狭小な駐車場</li> <li>販売スペースの不足</li> <li>出店事業者の後継者の確保</li> <li>人材不足</li> </ul>
加工品の開発・販売の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなスイーツの開発(塩シャーベット「塩姫」、生姜のお菓子「爪の垢」等)、販売開始(H24~)</li> <li>田野お土産BOXの販売開始(H30~)</li> <li>完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売(R2)</li> </ul>	
情報発信機能の強化・交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イベントへの参加や独自イベントの開催(H21~)</li> <li>田野駅屋拡張による情報発信コーナーの整備(H23)</li> <li>GW期間中の臨時観光案内所の開設(H23~)</li> <li>ごめんなはり線ウォーキングイベントの受入れ(H22~)</li> <li>田野町、道の駅指定管理者、地域本部で情報共有会議の実施(H28~30)</li> </ul>	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)店舗売上高※	2.7億円 (R4)	2.8億円			3.3億円
(2)入込数※	233千人 (R4)	236千人			300千人

※会計年度：1月~12月



安芸地域アクションプラン

		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.10 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み (田野町)		
実施主体	◎道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト(株))、◎田野町、加工施設指定管理者(中芸食材工房)、生産者組織、地域団体		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	<p>地域の特産品の販売や、観光情報の発信などの役割を担っている田野駅屋において、「阿南安芸自動車道」の整備を見据え、田野駅屋が観光の目的地や、道路利用者にとって安芸以東の地域における安心して休憩できる場となるよう再整備を行う。</p> <p>再整備にあたっては、令和5年度に策定した基本計画を元に、観光客や道路利用者だけでなく、地域のあらゆる世代が活躍する舞台となる地域拠点や地域コミュニティを目指していく。</p>		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
機能強化のための施設等整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの洋式化及びWi-Fi整備(H28)</li> <li>レンタサイクル小屋の整備(H30) →観光拠点等整備事業費補助金の活用</li> <li>再整備基本計画の基礎資料である、基本構想を策定(R4)</li> <li>再整備基本計画策定検討委員会の開催(R5)</li> <li>住民ワークショップ、住民アンケートの実施(R5)</li> <li>再整備基本計画の策定(R5)→産振補助金の活用</li> </ul>	<p><b>[成果]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の増加 R2: 2.5億円 →R6: 2.8億円</li> <li>新商品の開発(累計) H21: 0件 →R6: 6件</li> </ul>
直販・飲食機能及び運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新メニューの開発(H30)</li> <li>中芸高校生オリジナルレシピ「田野学館弁当」の販売開始(H30~)</li> <li>町100%出資の「たの未来プロジェクト(株)」が道の駅指定管理者として運営開始(R元~)</li> </ul>	<p><b>[課題]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>狭小な駐車場</li> <li>販売スペースの不足</li> <li>出店事業者の後継者の確保</li> <li>人材不足</li> </ul>
加工品の開発・販売の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなスイーツの開発(塩シャベット「塩姫」、生姜のお菓子「爪の垢」等)、販売開始(H24~)</li> <li>田野お土産BOXの販売開始(H30~)</li> <li>完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売(R2)</li> </ul>	
情報発信機能の強化・交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イベントへの参加や独自イベントの開催(H21~)</li> <li>田野駅屋拡張による情報発信コーナーの整備(H23)</li> <li>GW期間中の臨時観光案内所の開設(H23~)</li> <li>ごめんなはり線ウォーキングイベントの受入れ(H22~)</li> <li>田野町、道の駅指定管理者、地域本部で情報共有会議の実施(H28~30)</li> </ul>	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)店舗売上高※	2.7億円 (R4)	2.8億円			3.3億円
(2)入込数※	233千人 (R4)	236千人			300千人

※会計年度：1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>再整備に向けた検討</b></p> <p>■田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重点「道の駅」への選定を視野に入れた整備内容の検討</li> <li>事業財源の検討</li> <li>PPP/PFI導入の検討</li> <li>駐車場の拡張</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種支援制度の紹介</li> </ul>			設計	建設工事
<p><b>地域連携機能の強化</b></p> <p>■田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業継承による後継者の確保</li> <li>ふるさと納税や通販事業による物販機能の強化</li> <li>集落活動センター設立の検討及び防災備蓄倉庫等の導入機能の整備</li> <li>農作物栽培による耕作放棄地対策及び生きがいづくり</li> <li>キーパーソンの掘り起こし</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落活動センター制度の紹介、提案</li> <li>各種支援制度の紹介</li> </ul>	駐車場拡張	仕組み検討	集落活動センター設立の検討	
<p><b>広報の強化による集客の増加</b></p> <p>■道の駅指定管理者、田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光情報の案内機能の整備</li> <li>ホームページやSNS等による広報強化、更新頻度の増加</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報戦略に関する産振アドバイザーの活用提案</li> </ul>	他団体協議		周辺観光情報の集約・発信	

安芸地域アクションプラン

	分野	観光
AP名 (実施地域)	No.19 北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大 (北川村)	
実施主体	◎(株)きたがわジャルダン、◎北川村、(一社)北川村文化観光公社、NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会	
APへの位置づけ	H21.4月	
事業概要	北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉、中岡慎太郎関連施設及び北部地区いこいの里に関する情報発信の強化や、施設間の連携、体験メニューの実施などに取り組むことにより、集客力を高めて、交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>北川村観光協会のホームページ作成 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用</li> <li>北川村ゆず新聞の発行 (H30~)</li> <li>北川村ゆずいっばい手帖の発行 (R4)</li> <li>商品撮影セミナーへの参加 (R4)</li> <li>「ゆず香る里北川村」ホームページ作成 (R5)</li> </ul>	<p><b>[成果]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北川村ゆず新聞 累計号数：18号 (R7.2)</li> <li>3施設合計入園(館)者数 H30:94,350人 →R4:110,164人 →R5:129,878人</li> </ul>
運営体制の強化と施設の磨き上げ	<p>【モネの庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フロアホール、小庭園等の整備 (H22,23) →産振補助金活用</li> <li>カフェモネの家改修 (H28)</li> <li>ポルディゲラの庭オープン (R2) →観光拠点等整備事業費補助金を活用</li> </ul> <p>【中岡慎太郎館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エアタイトケースの整備や館内外の設備改修等 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用</li> <li>感染症対策のためのトイレ改修 (R2) →国交付金の活用</li> <li>中岡慎太郎先生顕彰会へ指定管理移行 (R4)</li> </ul> <p>【北川村温泉ゆずの宿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアルオープン (H30) →観光拠点等整備事業費補助金等の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慎太郎パスポート配布数 R3:752冊→R4:1,478冊→R5:1,500冊</li> <li>慎太郎パスポート周遊ラリー応募件数 R3:379件→R4:29件 →R5:161件</li> </ul>
周遊の仕組みづくりと体験観光の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>1DAYパスポートきたがわさんぼの販売 (H27)</li> <li>北川村観光施設周遊スタンプラリーきたがわ ALUKU の実施 (H28~R元)</li> <li>きたがわ村慎太郎パスポート周遊ラリーの実施 (R2~5)</li> <li>観光創生塾受講による観光商品の造成 (R2)</li> <li>きたがわむらマップの更新 (R4)</li> <li>(一社)北川村文化観光公社の設立 (R7)</li> </ul>	<p><b>[課題]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信のスキルアップ</li> <li>各施設の従業員不足</li> <li>施設の老朽化</li> <li>3施設及び周辺飲食店等との連携強化</li> <li>3施設間を結ぶ交通アクセス</li> <li>体験メニューの担い手の確保</li> </ul>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
3施設合計入園(館)者数	110,164人 (R4)				111,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>観光情報の発信と情報発信力の強化</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等を用いた情報発信やイベント等への出展によるPR</li> <li>研修会への参加やアドバイザーの活用</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ</li> </ul>				
<p><b>運営体制の強化</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材確保に向けてふるさとワーキングホリデー等の活用を検討</li> </ul> <p><b>モネの庭修繕計画</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モネの庭修繕計画の策定・実施</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ</li> </ul>				
<p><b>記念事業の計画・実施</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記念事業(モネの庭25周年、中岡慎太郎館30周年)の計画・実施</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の計画・実施支援</li> </ul> <p><b>村内周遊の仕組みづくりと体験メニューの造成</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設間の連携、体験メニューの検討・造成</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザー制度の活用提案、体験メニュー造成における支援</li> </ul>				

安芸地域アクションプラン

分野 観光

AP名 (実施地域)	No.19 北川村観光3施設を核とした交流人口の拡大 (北川村)
実施主体	◎(株)きたがわジャルダン、◎北川村、(一社)北川村文化観光公社、NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会、北川村北部地区「いこいの里」の会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	北川村「モネの庭」マルモッタン、北川村温泉、中岡慎太郎関連施設及び北部地区いこいの里に関する情報発信の強化や、施設間の連携、体験メニューの実施などに取り組むことにより、集客力を高めて、交流人口の拡大を図る。

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>北川村観光協会のホームページ作成 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用</li> <li>北川村ゆず新聞の発行 (H30~)</li> <li>北川村ゆずいっばい手帖の発行 (R4)</li> <li>商品撮影セミナーへの参加 (R4)</li> <li>「ゆず香る里北川村」ホームページ作成 (R5)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北川村ゆず新聞 累計号数: <b>20</b>号 (R7.9)</li> <li>3施設合計入園(館)者数 H30:94,350人 →R5:129,878人 →<b>R6:111,589人</b></li> <li>慎太郎パスポート配布数 R3:752冊→R4:1,478冊→R5:1,500冊</li> <li>慎太郎パスポート周遊ラリー応募件数 R3:379件→R4:29件 →R5:161件</li> <li><b>北川村ゆずグルメラリー</b>配布数 R7:1,000枚</li> </ul>
運営体制の強化と施設の磨き上げ	<p>【モネの庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フローラルホール、小庭園等の整備 (H22,23) →産振補助金</li> <li>カフェモネの家改修 (H28)</li> <li>ポルディゲラの庭オープン (R2) →観光拠点等整備事業費補助金</li> <li><b>文化観光推進事業(文化庁)の認定 (R7~R11)</b></li> </ul> <p>【中岡慎太郎館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エアタイトケースの整備や館内外の設備改修等 (H28) →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用</li> <li>感染症対策のためのトイレ改修 (R2) →国交付金の活用</li> <li><b>(一社)北川村文化観光公社へ指定管理移行 (R7)</b></li> </ul> <p>【北川村温泉ゆずの宿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアルオープン (H30) →観光拠点等整備事業費補助金等</li> <li><b>ふるさとワーキングホリデーの実施 (R7)</b></li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信のスキルアップ</li> <li>各施設の従業員不足</li> <li>施設の老朽化</li> <li>3施設及び周辺飲食店等との連携強化</li> <li>3施設間を結ぶ交通アクセス</li> <li>体験メニューの担い手の確保</li> </ul>
周遊の仕組みづくりと体験観光の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>1DAYパスポートきたがわさんぼの販売 (H27)</li> <li>北川村観光施設周遊スタンプラリーきたがわ ALUKUの実施 (H28~R元)</li> <li>きたがわ村慎太郎パスポート周遊ラリーの実施 (R2~5)</li> <li>観光創生塾受講による観光商品の造成 (R2)</li> <li>きたがわむらマップの更新 (R4)</li> <li>(一社)北川村文化観光公社の設立 (R7)</li> <li><b>北川村ゆずグルメラリーの実施 (R7)</b></li> </ul>	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信のスキルアップ</li> <li>各施設の従業員不足</li> <li>施設の老朽化</li> <li>3施設及び周辺飲食店等との連携強化</li> <li>3施設間を結ぶ交通アクセス</li> <li>体験メニューの担い手の確保</li> </ul>

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
3施設合計入園(館)者数	110,164人 (R4)	<b>111,589人</b>			111,000人

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
<p><b>観光情報の発信と情報発信力の強化</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等を用いた情報発信やイベント等への出展によるPR</li> <li>研修会への参加やアドバイザーの活用</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザー制度の活用提案、研修会への参加呼びかけ</li> </ul>				
<p><b>運営体制の強化</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材確保に向けてふるさとワーキングホリデー等の活用を検討</li> </ul> <p><b>施設の磨き上げ</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、北川村</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モネの庭修繕計画の策定・実施</li> <li><b>モネの庭文化観光推進事業(文化観光拠点計画)の推進</b></li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振補助金、産振アドバイザー制度の活用提案</li> </ul>				
<p><b>記念事業の計画・実施</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記念事業(モネの庭25周年、中岡慎太郎館30周年)の計画・実施</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の計画・実施支援</li> </ul> <p><b>村内周遊の仕組みづくりと体験メニューの造成</b></p> <p>■(株)きたがわジャルダン、中岡慎太郎先生顕彰会、(一社)北川村文化観光公社、北川村北部地区「いこいの里」の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設間の連携、体験メニューの検討・造成</li> </ul> <p>□県(地域本部等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産振アドバイザー制度の活用提案、体験メニュー造成における支援</li> </ul>				